

報 民
市 民
リポーター
だより

④

もう一度見直そう

観光大館

では、ジャンボタンボギネスに

「よく大館って何にもないまちだね」というのを耳にします。それはたぶん観光名所、レジャー施設、ショッピング街、おいしい食べ物店等、もろもろのことを意味するのだと思います。確かに遠方からお客様が来ると、つい十和田湖、八幡平、マインランドなどを案内してしまします。本当に、わが大館には何もないのか。もう一度見直してみたいと思い、大館市観光協会事務局長の小林さんと市役所観光物産課長の安藤さんにリポートしてみました。

全国的に有名なもの

本場きりたんぼの里

「大館に行くときりたんぼが食べれる」と楽しみに来るほど、市内の専門店では、四季を通じてきりたんぼを食べれるようになりまし。また、きりたんぼまつりも、秋の祭りとして十月に行うようになってから今年で十一回目となり、すっかり定着したようです。まつりの期間中、長木川市民ひろばで開かれるきりたんぼ村

期待したいです。

映画「ハチ公物語」で、秋田犬が全国的に知られるようになったのは大変喜ばしいことです。駅前にはハチ公の銅像が建ち、桂城公園の近くにはハチ公や秋田犬の資料などをそなえた秋田犬会館があります。しかし、肝心の秋田犬は市内でなかなか見れないため、観光客がいつても秋田犬と触れ合える牧場のような施設があってもいいのでは？と伺いましたら、「ほとんどの秋田犬は個人の所有で、血統書がついていますので、所有者の皆さんが一頭一頭大事に育てています。そのため、一カ所に集めて飼うのは難しい。どうしても見たい人には市で便宜を図ってくれます。」と観光協会的小林さんが答えてくださいました。

大館曲げわっぱ

曲げわっぱは、民謡にも謡われ、秋田杉のまき目を生かしたすばらしい工芸品です。それに、杉の香りはなんともいえませんが、私は、県外の人へのお土産にはできるだけ曲げわっぱを使うようにしています。市内の土産店、デパートなどで買い求めることができますが、欲を言えば、製造業者などが一堂に集まった施設があつて、そこでは製造課程の見学や製品の購入ができるようにしたいと思っています。

四季折々の祭り

春は桜まつり、夏は大文字まつり、秋はきりたんぼまつり、冬はアメッコ市と、大館には四季折々に祭りがあつます。その中で一番古いのはアメッコ市で、四

市内名所巡り

すから、思い切ったイベントなどができないようです。



▲高橋リポーター(左)と小林観光協会事務局長

秋田犬会館、北鹿ハリストス正教会聖堂、松下村塾、山田三鶏記念館、鳥潟会館、安藤昌益の墓、小林多喜二の碑、秋田杉矢立風致林、長走風穴と高山植物群落、芝谷地湿原植物群落、長木川渓流、出川のケヤキ、市内に散在している温泉等、調べてみるとわがまちには、他に劣らないくらい見物する所があります。しかしそれらは、ほとんど郊外に点在していることと、個人所有のものもありますので、いつでも見学できるという訳にいかない不便さがあります。安藤課長は「大館は、大型バスで観光するよりも、四、五人でナツプザックを背負い、ゆっくり自然を満喫しながら歩き、夜は温泉につかり、体をリフレッシュするまちです」と言われました。今回改めて大館を見直してみて、自然はいつい残っていて温泉はありますし、きりたんぼや曲げわっぱなど自慢できるものもありますので、こないいいまちはないと自覚しました。欲を言えば、若者が定着できる職場とレジャー施設があればと思います。市民の皆さんも、もう一度自分のまちをじっくり歩いてみてはいかがでしょうか。

◇広報市民リポーターだよりは、毎月1日号で、6人のリポーターが独自に取材した記事を掲載します。